

平成 18 年度 臨床研修に関する調査

厚生労働科学研究班：「新医師臨床研修制度の評価に関する調査研究」

＜主任研究者：福井次矢（聖路加国際病院院長）＞

同：「卒前教育から生涯教育を通じた医師教育の在り方に関する研究」

＜主任研究者：篠崎英夫（国立保健医療科学院院長）＞

【記入上の注意】

1. この調査票は2年目の研修医の方がご記入ください。
2. 調査票は、同封の封筒に入れ、封をしたのち、病院に提出してください。ご回答いただきました内容については、次のように取り扱います。
 - ① 調査目的以外には使用いたしません。
 - ② 統計的に処理し、個人名等が特定できないように配慮します。
 - ③ 自由記述の内容も、個々の回答者が特定されないよう配慮し、データ化します。
 - ④ 調査の拒否や、調査項目の一部への回答拒否があっても、そのことで不利益が生ずることはありません。
 - ⑤ 調査結果は、報告書として公表されます。

なお、調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

＜アンケート内容に関する問い合わせ先＞

〒100-8916

東京都千代田区霞ヶ関 1-2-2 厚生労働省 医政局 医事課 医師臨床研修推進室

TEL 03-5253-1111(内線 2568)、03-3595-2196(夜間直通) FAX 03-3591-9072

※ 以下の項目について、あてはまるものを○で囲む、あるいは（ ）内にご回答ください

I. あなたの属性について

性別	1 男性	2 女性	実家(父母の家)の 現在の所在地	都道府県
年齢	歳		出身地(育った土地)の 都道府県	都道府県
出身大学	大学			

II. 臨床研修について

【病院の属性について】

問1 あなたの研修プログラムを管理している病院の名称

問2 研修プログラムを管理している病院の所在地

 都道府県

問3 研修プログラムを管理している病院の規模（病床数）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 100床未満 | 4. 500床以上 700床未満 |
| 2. 100床以上 300床未満 | 5. 700床以上 900床未満 |
| 3. 300床以上 500床未満 | 6. 900床以上 |

【研修期間の内訳について】

問4 下記の診療科について、研修期間と交代制(担当の入院患者について夜間休日のコールを受けず当直医に任せていた場合)をとっていたかをお答えください。

*研修期間については、救急当直等、宿日直のみの期間は含まない。

診療科	研修期間	交代制 (1、2、3のいずれかに○)		
		1 とっていた	2 とっていないかった	3 入院病棟がなかった
1 内科	ヶ月	1	2	3
2 心療内科	ヶ月	1	2	3
3 呼吸器科	ヶ月	1	2	3
4 消化器科	ヶ月	1	2	3
5 循環器科	ヶ月	1	2	3
6 アレルギー科	ヶ月	1	2	3
7 リウマチ科	ヶ月	1	2	3
8 小児科	ヶ月	1	2	3
9 精神科	ヶ月	1	2	3
10 神経内科	ヶ月	1	2	3
11 外科	ヶ月	1	2	3
12 整形外科	ヶ月	1	2	3
13 形成外科	ヶ月	1	2	3
14 美容外科	ヶ月	1	2	3
15 脳神経外科	ヶ月	1	2	3
16 呼吸器外科	ヶ月	1	2	3
17 心臓血管外科	ヶ月	1	2	3
18 小児外科	ヶ月	1	2	3
19 産婦人科	ヶ月	1	2	3
20 眼科	ヶ月	1	2	3
21 耳鼻咽喉科	ヶ月	1	2	3
22 皮膚科	ヶ月	1	2	3
23 泌尿器科	ヶ月	1	2	3
24 リハビリテーション科	ヶ月	1	2	3
25 放射線科	ヶ月	1	2	3
26 麻酔科	ヶ月	1	2	3
27 救命救急	ヶ月	1	2	3
28 総合診療科	ヶ月	1	2	3
29 病理	ヶ月	1	2	3
30 緩和ケア部門	ヶ月	1	2	3
31 医療行政	ヶ月	1	2	3
32 基礎系	ヶ月	1	2	3
33 その他	ヶ月	1	2	3
合 計	ヶ月			

問8 あなたが研修している研修プログラムに満足していますか (○印は1つ)

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1 満足している | 2 満足していない | 3 わからない |
|----------|-----------|---------|

問8-1 あなたが研修している研修プログラムで満足している点は何ですか

(あてはまるもの全てに○印)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 プライマリ・ケアの能力を身につけられる | 4 期待していた通りの内容である |
| 2 全人的医療を学ぶことができるから | 5 複数の科を回って進路を決める参考になる |
| 3 専門医研修にうまくつながりそうである | 6 その他 () |

問8-2 あなたが研修している研修プログラムで改善すべき点は何ですか

(あてはまるもの全てに○印)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1 プライマリ・ケアの能力がよく身につけられない | 6 1分野あたりの研修期間が短い |
| 2 全人的医療を学ぶことができない | 7 希望する科を選択できない |
| 3 専門医研修にうまくつながりそうでない | 8 将来専門とする科をもっと長く研修したい |
| 4 思っていたよりも内容が厳しすぎる | 9 研修期間を長くしたい科と短くしたい科がある |
| 5 思っていたよりも内容が楽すぎる | 10 その他 () |

問9 臨床研修の到達目標に関して、この研修でどのくらい達成されたと思いますか (○印は1つ)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 十分達成されたと思う | 3 あまり達成されなかったと思う |
| 2 ほぼ達成されたと思う | 4 達成されなかったと思う |
| | 5 わからない |

問9-1 臨床研修の到達目標を達成するために必要な課題は何ですか

(あてはまるもの全てに○印)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 各科の研修期間を長くすること | 7 プライマリ・ケアを充実させる |
| 2 指導医をよくすること | 8 回る科を少なくする |
| 3 本人の努力 | 9 雑用を減らす |
| 4 十分な症例数 | 10 コ・メディカルの協力 |
| 5 手技をやらせてもらう | 11 その他 () |
| 6 科の選択を自由にする | |

問10 あなたが研修を受けている病院の処遇・待遇に満足していますか (○印は1つ)

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1 満足している | 2 満足していない | 3 わからない |
|----------|-----------|---------|

問10-1 あなたが研修を受けている病院の処遇・待遇で良い点は何ですか

(あてはまるもの全てに○印)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 給料・手当が良い | 5 研修医専用の部屋がある |
| 2 住宅環境が良い | 6 学会や研究会に行きやすい |
| 3 IT環境がよい | 7 その他 () |
| 4 休暇が充実している | |

問 10-2 あなたが研修を受けている病院の処遇・待遇で、改善すべき点は何ですか
(あてはまるもの全てに○印)

1 給料・手当が安い	5 研修医専用の部屋がない
2 住宅環境が良くない	6 学会や研究会に行きにくい
3 IT環境が悪い	7 その他 ()
4 勤務時間が長い・休暇が取りづらい	

【相談体制】

問 11 研修を受けるうえで何か問題が生じた場合に誰に相談していますか (あてはまるもの全てに○印)

1 研修管理委員会・委員長	6 看護職 (師長など)
2 プログラム責任者	7 研修医 (同僚・先輩)
3 指導医	8 その他 ()
4 上級医 (指導医を除く)	9 相談相手がいない
5 専属又は兼務の研修医相談担当者	10 相談しない

Ⅲ. 臨床研修後のことについて

【研修後の進路について】

問 12 臨床研修修了後の予定はどれですか (○印は1つ)

	現在、大学病院 で研修中の方	現在、市中病院 で研修中の方
1 現在、研修をしている大学に在籍し、その大学または医局が紹介する病院で勤務・研修する		
2 現在、研修をしているのは別の大学に在籍し、その大学または医局が紹介する病院で勤務・研修する		
3 現在研修をしている市中病院で引き続き勤務・研修する		
4 現在研修をしているのは別の市中病院で勤務・研修する		
5 臨床系大学院に進学する		
6 基礎・社会医学系大学院に進学する		
7 基礎・社会医学系研究者 (大学院生をのぞく) になる		
8 開業する (開業医を引き継ぐ場合も含む)		
9 保健所等、医療行政の仕事につく		
10 医療・研究以外の仕事につく (具体的に)		
11 海外に勤務・留学する		
12 まだ決まっていない		
13 その他 ()		

問 12-1 将来は、診療所の開業を希望しますか。一番近いと思うものを選んでください

1 開業は希望しない	4 開業医を引き継ぐ
2 条件が整えば開業したい	5 わからない
3 できるだけ早く開業したい	

【将来の進路について】

問 18 将来はどのような分野で仕事をしたいと考えていますか (あてはまるもの全てに○印)

- | | |
|------|-----------|
| 1 臨床 | 4 保健所等の行政 |
| 2 教育 | 5 その他 () |
| 3 研究 | 6 わからない |

問 18-1 問 18 で “1 臨床” と回答した場合、将来、どのような専門性で勤務することを目指していますか。一番近いと思うものを選んでください (○印は1つ)

- | |
|--|
| 1 幅広い病気の治療にかかわる診療をしたい (例: 総合診療医、救急) |
| 2 幅広い病気の治療にかかわりながらも、特定の分野である程度の専門性をもって診療したい
(例: 内科開業医、一般外科) |
| 3 特定の診療科の対象患者を治療する医師として診療したい (例: 消化器科、脳神経外科、眼科) |
| 4 特定の診療科で、さらに特定の分野の専門性をもって診療したい (例: 肝臓専門) |

問 18-2 問 18 で “1 臨床” と回答した場合、将来、大学の医局への入局を希望しますか

(○印は1つ)

- | | | | |
|-----------|------------|---------|---------|
| 1 入局を希望する | 2 入局を希望しない | 3 わからない | 4 関心がない |
|-----------|------------|---------|---------|

【仕事と生活とのバランスについて】

問 19 将来、仕事と自分の生活のバランスをどのようにしたいと考えていますか。一番近いと思うものを選んでください (○印は1つ)

- | |
|------------------------------------|
| 1 仕事に生き甲斐を求めて、全力を傾ける |
| 2 自分の生活も大切にしますが、どちらかという仕事のほうを大切にする |
| 3 仕事も、自分の生活も同じくらい大切にする |
| 4 仕事も大切にしますが、どちらかという自分の生活のほうを大切にする |
| 5 仕事よりも、自分の生活を大切にする |

【大切に思うこと】

問 20 将来、最も大切にしたいものはなんですか (○印は1つ)

- | | |
|----------|------------|
| 1 社会への貢献 | 5 地位・名誉 |
| 2 技術向上 | 6 自分の自由な時間 |
| 3 研究業績 | 7 家族・家庭 |
| 4 収入 | 8 その他 () |

IV. 臨床研修で身に付いた基本的な臨床知識、技術、態度について

問 21 臨床研修で身に付いた臨床知識、技術、態度についてお尋ねします。以下の項目について A、B、C、D のうち、あてはまる記号を○で囲んでください

- | | |
|------------------|-----------------------|
| A 確実にできる、自信がある | C あまり自信がない、ひとりでは不安である |
| B だいたいできる、たぶんできる | D できない |

1	患者の解釈モデルを聞きだすことができる	A	B	C	D
2	患者の病歴を系統的に聴取できる	A	B	C	D
3	患者と非言語的コミュニケーションができる	A	B	C	D
4	バイタルサインを取ることができる	A	B	C	D
5	皮膚の所見を記述できる	A	B	C	D
6	眼底所見により、動脈硬化の有無を判定できる	A	B	C	D
7	鼓膜を観察し、異常の有無を判定できる	A	B	C	D
8	甲状腺の触診ができる	A	B	C	D
9	心尖拍動を触知できる	A	B	C	D
10	心雑音を聴取し、記載できる	A	B	C	D
11	ラ音を聴取し、記載できる	A	B	C	D
12	筋性防御の有無を判定できる	A	B	C	D
13	直腸診で前立腺の異常を判断できる	A	B	C	D
14	妊娠の初期兆候を把握できる	A	B	C	D
15	双手診により女性付属器の腫脹を触知できる	A	B	C	D
16	関節可動域を検査できる	A	B	C	D
17	髄膜刺激所見をとることができる	A	B	C	D
18	小児の精神運動発達の異常を判断できる	A	B	C	D
19	うつ病の診断基準を述べることができる	A	B	C	D
20	骨折、脱臼、捻挫の鑑別診断ができる	A	B	C	D
21	尿沈査の鏡検で、赤血球、白血球、円柱を区別できる	A	B	C	D
22	便の潜血反応を実施し、結果を解釈することができる	A	B	C	D
23	血液ガス分析の適応が判断でき、結果の解釈ができる	A	B	C	D
24	血算・白血球分画検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	A	B	C	D
25	血液生化学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	A	B	C	D
26	血液凝固機構に関する検査を指示し、結果を判定できる	A	B	C	D
27	簡易検査（血糖、電解質、尿素窒素など）の適応が判断でき、結果の解釈ができる	A	B	C	D
28	血液免疫血清学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	A	B	C	D
29	内分泌学的検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	A	B	C	D
30	グラム染色を行い、結果の解釈ができる	A	B	C	D
31	髄液検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる	A	B	C	D

32	心電図検査を自ら実施し、不整脈の鑑別診断ができる	A	B	C	D
33	肺機能検査で閉塞性換気障害の判定ができる	A	B	C	D
34	超音波検査を自ら実施し、胆管拡張の判定ができる	A	B	C	D
35	胸部単純X線でシルエットサインを判定できる	A	B	C	D
36	腹部単純X線でイレウスを判定できる	A	B	C	D
37	胸部CTで肺癌による所見を見出すことができる	A	B	C	D
38	頭部MRI検査の適応が判断でき、脳梗塞を判定できる	A	B	C	D
39	手術の手洗いが適切にできる	A	B	C	D
40	静脈血採血が正しくできる	A	B	C	D
41	動脈血採血が正しくできる	A	B	C	D
42	血液型クロスマッチを行い、結果の判定ができる	A	B	C	D
43	輸液の種類と適応を挙げ、輸液の量を決定できる	A	B	C	D
44	腰椎穿刺を実施できる	A	B	C	D
45	導尿法を実施できる	A	B	C	D
46	抗菌薬の作用・副作用を理解し、処方できる	A	B	C	D
47	局所浸潤麻酔とその副作用に対する処置が行える	A	B	C	D
48	傷病の基本的処置として、デブリードマンができる	A	B	C	D
49	皮膚縫合法を実施できる	A	B	C	D
50	術後起こりうる合併症及び異常に対して基本的な対処ができる	A	B	C	D
51	術前患者の不安に対し、心理的配慮をした処置ができる	A	B	C	D
52	心マッサージができる	A	B	C	D
53	気管挿管ができる	A	B	C	D
54	レスピレーターを装着し、調節できる	A	B	C	D
55	電氣的除細動の適応を挙げ、実施できる	A	B	C	D
56	救急患者の重症度および緊急度を判断できる	A	B	C	D
57	ショックの診断と治療ができる	A	B	C	D
58	末期患者の家族に病気を説明し、家族の心理的不安を受け止めることができる	A	B	C	D
59	在宅医療を希望する末期患者のために、環境整備を指導できる	A	B	C	D
60	緩和ケア（WHO方式がん疼痛治療法を含む）のチーム医療に参加できる	A	B	C	D
61	患者の身体的側面だけでなく、心理社会的側面に配慮した治療ができる	A	B	C	D
62	医療費や社会福祉サービスに関する患者、家族の相談に応じ、解決法を指導できる	A	B	C	D
63	インフォームドコンセントをとることが実施できる	A	B	C	D
64	指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる	A	B	C	D
65	糖尿病患者への健康教育（健康相談および指導）ができる	A	B	C	D
66	日常よく行う処置、検査等の保険点数を知っている	A	B	C	D
67	ソーシャルワーカーの役割を理解し、協同して患者ケアを行える	A	B	C	D
68	禁煙指導ができる	A	B	C	D

69	患者の知識や関心のレベルに応じた健康教育ができる	A	B	C	D
70	在宅医療の適応の判断ができる	A	B	C	D
71	地域の医療資源を活用し、入院患者の退院後も継続性のある医療を提供できるよう調整することができる	A	B	C	D
72	社会福祉施設等の役割について理解し、連携をとることができる	A	B	C	D
73	診療上湧き上がってきた疑問点について、Medline で文献検索ができる	A	B	C	D
74	カンファレンス等で簡潔に受持患者のプレゼンテーションできる	A	B	C	D
75	診療録（退院時サマリーを含む）を POS (Problem Oriented System) に従って記載し管理できる	A	B	C	D
76	研究デザインを理解して、論文を読むことができる	A	B	C	D
77	学会で症例報告ができる	A	B	C	D
78	データの種類に応じて適切な統計学的解析ができる	A	B	C	D
79	医療上の安全確認の基本的な考え方を理解し、実施できる	A	B	C	D
80	医療事故防止及び事故後の対処について、マニュアルなどに沿って行動できる	A	B	C	D
81	院内感染対策 (Standard Precautions を含む) の基本を理解し、実施できる	A	B	C	D
82	高齢者の聴力・視力・認知面での障害の有無に配慮した、病歴聴取を行うことができる	A	B	C	D
83	高齢者の症状が非特異的、非典型的であることを理解して、身体所見をとることができる	A	B	C	D
84	高齢者の身体的、精神的、社会的活動性をできるだけ良好に維持するような治療法を提示することができる	A	B	C	D
85	小児の精神運動発達の異常を判断できる	A	B	C	D
86	小児の採血、点滴ができる	A	B	C	D
87	患児の身体的苦痛のみならず、精神的ケアにも配慮できる	A	B	C	D
88	患児の年齢や理解度に応じた説明ができる	A	B	C	D
89	代表的な精神科疾患について、診断および治療ができる	A	B	C	D
90	精神科領域の薬物治療に伴うことの多い障害について理解し、適切な検査・処置ができる	A	B	C	D
91	精神科コ・メディカルスタッフ (PSW 等) の業務を理解し、連携してケアを行うことができる	A	B	C	D
92	地域の精神保健福祉に関する支援体制状況に関する知識を持ち、適切な連携をとることができる	A	B	C	D
93	守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる	A	B	C	D
94	患者の基本的権利について説明できる	A	B	C	D
94	自己決定できない患者での代理決定について判断できる	A	B	C	D
95	診療計画 (診断、治療、患者・家族への説明を含む) を作成できる	A	B	C	D
96	診療ガイドラインやクリティカルパスを理解し活用できる	A	B	C	D
97	基本的な臨床知識・技術について後輩を指導することができる	A	B	C	D
98	医療人として必要な姿勢・態度について後輩のロールモデルになることができる	A	B	C	D

V. 臨床研修での経験症例数について

問 22 あなたの経験症例数をお尋ねします。以下の項目について、2年の研修期間中、入院患者あるいは外来患者で、あなたの経験した数についてあてはまるもの（症例数）を○で囲んでください

問 22-1 症状・病態について

1	不眠	0例	1~5例	6~10例	11例~
2	浮腫	0例	1~5例	6~10例	11例~
3	リンパ節腫脹	0例	1~5例	6~10例	11例~
4	発疹	0例	1~5例	6~10例	11例~
5	発熱	0例	1~5例	6~10例	11例~
6	頭痛	0例	1~5例	6~10例	11例~
7	めまい	0例	1~5例	6~10例	11例~
8	視力障害、視野狭窄	0例	1~5例	6~10例	11例~
9	結膜の充血	0例	1~5例	6~10例	11例~
10	胸痛	0例	1~5例	6~10例	11例~
11	動悸	0例	1~5例	6~10例	11例~
12	呼吸困難	0例	1~5例	6~10例	11例~
13	咳・痰	0例	1~5例	6~10例	11例~
14	嘔気・嘔吐	0例	1~5例	6~10例	11例~
15	腹痛	0例	1~5例	6~10例	11例~
16	便通異常(下痢、便秘)	0例	1~5例	6~10例	11例~
17	腰痛	0例	1~5例	6~10例	11例~
18	四肢のしびれ	0例	1~5例	6~10例	11例~
19	血尿	0例	1~5例	6~10例	11例~
20	排尿障害(尿失禁・排尿困難)	0例	1~5例	6~10例	11例~
21	不安・抑うつ	0例	1~5例	6~10例	11例~
22	心肺停止	0例	1~5例	6~10例	11例~
23	ショック	0例	1~5例	6~10例	11例~
24	意識障害	0例	1~5例	6~10例	11例~
25	脳血管障害	0例	1~5例	6~10例	11例~
26	急性心不全	0例	1~5例	6~10例	11例~
27	急性冠症候群	0例	1~5例	6~10例	11例~
28	急性腹症	0例	1~5例	6~10例	11例~
29	急性消化管出血	0例	1~5例	6~10例	11例~
30	外傷	0例	1~5例	6~10例	11例~
31	急性中毒	0例	1~5例	6~10例	11例~
32	誤飲、誤嚥	0例	1~5例	6~10例	11例~
33	熱傷	0例	1~5例	6~10例	11例~
34	自殺企図	0例	1~5例	6~10例	11例~

問 22-2 疾患について（複数の疾患を含む項目は、そのひとつでも経験すれば1例と数え、合計数を
ご回答ください）

35	貧血(鉄欠乏性貧血、二次性貧血)	0例	1~5例	6~10例	11例~
36	脳・脊髄血管障害(脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血)	0例	1~5例	6~10例	11例~
37	湿疹・皮膚炎群(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎)	0例	1~5例	6~10例	11例~
38	蕁麻疹	0例	1~5例	6~10例	11例~
39	皮膚感染症	0例	1~5例	6~10例	11例~
40	骨折	0例	1~5例	6~10例	11例~
41	関節の脱臼、亜脱臼、捻挫、靭帯損傷	0例	1~5例	6~10例	11例~
42	骨粗鬆症	0例	1~5例	6~10例	11例~
43	脊柱障害(腰椎椎間板ヘルニア)	0例	1~5例	6~10例	11例~
44	心不全	0例	1~5例	6~10例	11例~
45	狭心症、心筋梗塞	0例	1~5例	6~10例	11例~
46	不整脈(主要な頻脈性、徐脈性不整脈)	0例	1~5例	6~10例	11例~
47	動脈疾患(動脈硬化症、大動脈瘤)	0例	1~5例	6~10例	11例~
48	高血圧症(本態性、二次性高血圧症)	0例	1~5例	6~10例	11例~
49	呼吸不全	0例	1~5例	6~10例	11例~
50	呼吸器感染症(急性上気道炎、気管支炎、肺炎)	0例	1~5例	6~10例	11例~
51	閉塞性・拘束性肺疾患(気管支喘息、気管支拡張症)	0例	1~5例	6~10例	11例~
52	食道・胃・十二指腸疾患(食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎)	0例	1~5例	6~10例	11例~
53	小腸・大腸疾患(イレウス、急性虫垂炎、痔核・痔瘻)	0例	1~5例	6~10例	11例~
54	肝疾患(ウイルス性肝炎、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性肝障害、薬物性肝障害)	0例	1~5例	6~10例	11例~
55	横隔膜・腹壁・腹膜(腹膜炎、急性腹症、ヘルニア)	0例	1~5例	6~10例	11例~
56	腎不全(急性・慢性腎不全、透析)	0例	1~5例	6~10例	11例~
57	泌尿器科的腎・尿路疾患(尿路結石、尿路感染症)	0例	1~5例	6~10例	11例~
58	妊娠分娩(正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、乳腺炎、産褥)	0例	1~5例	6~10例	11例~
59	男性生殖器官疾患(前立腺疾患、勃起障害、精巣腫瘍)	0例	1~5例	6~10例	11例~
60	糖代謝異常(糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖)	0例	1~5例	6~10例	11例~
61	高脂血症	0例	1~5例	6~10例	11例~
62	屈折異常(近視、遠視、乱視)	0例	1~5例	6~10例	11例~
63	角結膜炎	0例	1~5例	6~10例	11例~
64	白内障	0例	1~5例	6~10例	11例~
65	緑内障	0例	1~5例	6~10例	11例~
66	中耳炎	0例	1~5例	6~10例	11例~
67	アレルギー性鼻炎	0例	1~5例	6~10例	11例~
68	認知障害(血管性認知障害を含む)	0例	1~5例	6~10例	11例~
69	うつ病	0例	1~5例	6~10例	11例~

問 23-2 問 23 で “1 はい” と回答した場合、利用可能であった教育支援を具体的に教えてください（当てはまるもの全てに○印）

- 1 指導医による学術活動教育
- 2 学術活動のための期間（時間）
- 3 学術活動に必要な体系的な講義、レクチャー、勉強会
- 4 研究費
- 5 統計手法、研究デザインに関するコンサルテーション
- 6 その他（ ）

問 23-3 問 23 で “2 いいえ” と回答した場合、その理由を教えてください（当てはまるもの全てに○印）

- 1 学術活動を支援してくれる指導医がいなかった
- 2 研修プログラム上、研修医が学術活動を行うための時間がなかった
- 3 指導医が学術活動の指導をする時間がなかった
- 4 統計手法や研究デザインに関する相談相手がいなかった
- 5 臨床研究に興味がなかった
- 6 研究費用がなかった
- 7 その他（ ）

問 23-4 全員の方にお尋ねいたします。研修期間中の学術活動は必要と思われますか？

- 1 必要と思う
- 2 どちらでもない
- 3 必要でない

***** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。*****